

「被災者の訴え・問い・嘆願」 旧約聖書・詩篇79篇 アサフの賛歌より

詩篇79篇に登場する信仰者は、大災害（B.C.587年のエルサレム陥落）によって被災者の一人となった。彼は深刻な危機に陥り、混乱と怒りと疲れの中、神に惨状を訴え、神に問いかけ、そして神に嘆願する。

1、被災者の訴える惨状

- 1 神よ。国々は、ご自身のものである地に侵入し、
あなたの聖なる宮をけがし、エルサレムを廃墟としました。
- 2 彼らは、あなたのしもべたちのしかばねを空の鳥のえじきとし、
あなたの聖徒たちの肉を野の獣に与え、
- 3 聖徒たちの血を、エルサレムの回りに、水のように注ぎ出しました。
彼らを葬る者もいません。
- 4 私たちは隣人の**そしり**となり、回りの者の**あざけり**となり、**笑いぐさ**となりました。

2、被災者の問いかけ

- 5 主よ。いつまででしょうか。あなたは、いつまでもお怒りなのでしょうか。
いつまで、あなたのねたみは火のように燃えるのでしょうか。

3、被災者の嘆願

- 6 どうか、あなたを知らない国々に、御名を呼び求めない王国の上に、
あなたの激しい憤りを注ぎ出してください。
- 7 彼らはヤコブを食い尽くし、その住む所を荒らしたからです。
- 8 先祖たちの咎を、私たちのものとして、思い出さないでください。
あなたのあわれみが、すみやかに、私たちを迎えますように。
私たちは、ひどくおとしめられていますから。
- 9 私たちの救いの神よ。御名の栄光のために、私たちを助けてください。
御名のために、私たちを救い出し、私たちの罪をお赦してください。
- 10 なぜ、国々は、「彼らの神はどこにいるのか」と言うのでしょうか。
あなたのしもべたちの、流された血の復讐が、
私たちの目の前で、国々に思い知らされますように。
- 11 捕らわれ人のうめきが御前に届きますように。
あなたの偉大な力によって、死に定められた人々を生きながらえさせてください。
- 12 主よ。あなたをそしった、そのそしりの七倍を、私たちの隣人らの胸に返してください。
- 13 そうすれば、あなたの民、あなたの牧場の羊である私たちは、
とこしえまでも、あなたに感謝し、代々限りなくあなたの誉れを語りあげましょう。